撮影 田山達之
画像提供 森美術館

**シアスター・ゲイツ氏**
Theaster Gates

1973年、米国イリノイ州シカゴ生まれ、同地在住。アイオワ州立大学と南アフリカのケープタウン大学で都市デザイン、陶芸、宗教学、視覚芸術を学ぶ。

世界で注目される現代アーティスト

# シアスター・ゲイツ氏を「常滑市応援大使」に！

《小出芳弘コレクション》(1941-2022年)ほか　展示風景「シアスター・ゲイツ展 アフロ民藝」森美術館(東京)2024年　撮影 来田 猛　画像提供 森美術館

《ドリス様式神殿のためのブラック・ベッセル(黒い器)》(2022-2023年)ほか
展示風景「シアスター・ゲイツ展 アフロ民藝」森美術館(東京)2024年　撮影 来田猛　　画像提供 森美術館

## 日本での原点「常滑」

市の魅力を広く国内外に発信するために、市に縁があり、世界で注目される現代アーティストのシアスター・ゲイツさんを市応援大使に委嘱しました(委嘱期間 4月24日～9月1日)。

シアスター・ゲイツさんは、2004年の「とこなめ国際やきものホームステイ」(IWCAT)への参加で数カ月を常滑で過ごしたことを機会に、現在まで20年にわたり市の陶磁器の文化的価値と伝統に敬意と強い関心を持ち、陶芸家や地域の人々と関係を築いてきました。

## 世界で注目される現代アーティスト シアスター・ゲイツ氏

イギリスの現代アート誌『Art Review』が毎年発表する、アート界で最も影響力をもつ100組のランキング「Power100」2023年度版で7位に輝く活躍をしています。

土という素材、客体性(鑑賞者との関係性)、空間と物質性などの視覚芸術理論を用いて、ブラックネス(黒人であること)の複雑さを巧みに表現しています。

日本では、2019年に公益財団法人大林財団「都市のヴィジョン」の助成対象者として選出され、国内でリサーチプロジェクトを実施しました。また、国際芸術祭「あいち2022」では、市内のやきもの散歩道内の旧製陶所「丸利陶管」で作品を出展しています。

## 「常滑」への思い

4月24日(水)から森美術館(東京都六本木)で開催されている個展に先駆けて4月23日(火)に開催されたプレス説明会・応援大使委嘱式では、「**常滑は私を一変させたとても重要な場所。私が良いアーティストになるための刺激を与えてくれた。私にとって常滑は、世界で最も重要な場所の一つ**」と語り、「**この展覧会は世界中のものづくりと職人たちを称えるものであり、私の日本での原点である常滑を祝うものでもあります。ものづくりと友情を通じて、人が文化の持つ影響力の可能性に身をゆだねたときに何が起こるかを示すもの**」と話されました。

## 国内最大規模の個展

グローバルなアートシーンで近年関心が集まるブラック・アート。なかでも高い注目度を誇るシアスター・ゲイツさんの過去の代表作から新作までを一堂に体験できる貴重な機会です。背景にある黒人史や黒人文化と併せて包括的に紹介する個展は、国内では過去に例を見ないスケールでの試みとなっています。市内で制作された陶芸と彫刻が融合した大型インスタレーション、歴史的資料のアーカイブ、タールを素材とした絵画、音響作品、映像作品など、充実した作品群が展示されています。

## 常滑とのコラボ

個展では、日本の民藝運動の歴史、アメリカ黒人文化史、ゲイツさんの個人史とともに市の歴史を説明する年表や、常滑を連想させる作品が数多く展示されています。また、**市内に在住の作家の作品や事業者とのコラボレーション**も行われるなど、世界に向けて市が発信される内容となっています。

その一例として、水野製陶園が個展のために制作した1万4,000個のれんがや澤田酒造と制作したオリジナルデザインのお酒などがあります。

また、壁一面に展開される《小出芳弘コレクション》(P3)は、市出身の陶芸家・小出芳弘さん(1941～2022)が制作した約2万点の陶芸作品すべてをシアスター・ゲイツさんが買い取ったもので、作家の人生を引き受けることで、小出さんの陶芸作品に新たな生命と意義を与えています。

シアスター・ゲイツさんは、個展を通して市の魅力を世界に伝えるとともに、期間中には、市内にあるゲイツさんの制作拠点の公開が予定されています。ぜひ、会場で世界的アーティストにより表現された常滑をご覧ください。

展覧会、市内でのイベント情報の詳細は、森美術館ホームページで確認してください。

応援大使についての問合せ
魅力創造室☎47-6119 FAX34-9784

### シアスター・ゲイツ展　アフロ民藝

**日　時**　4月24日(水)～9月1日(日)
10:00～22:00(火曜日のみ17:00まで、ただし8月13日(火)は22:00まで)

**場　所**　森美術館(東京都港区六本木)

**入館料**　平日　一般2,000円／土日祝　一般2,200円
(中学生以下無料)

**【常滑市民、チケット1,000円割　7/1から実施！】**
当日チケット購入時に受付で、
市出身であることを申し出てください。

展示風景「シアスター・ゲイツ展 アフロ民藝」森美術館(東京)2024年　撮影 来田 猛　画像提供 森美術館